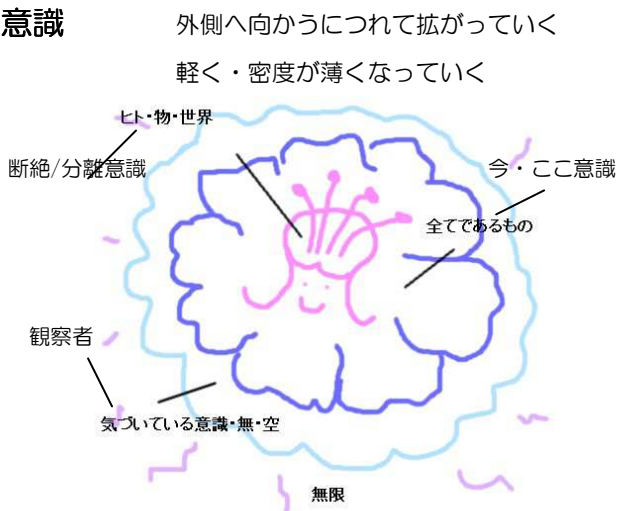


# 癒しのメカニズム

## ●ヒーリング・クリアリング

- ・楽しむ、エネルギーと遊ぶ  
何かをしているとか、起こすとかいうマインドの領域での解釈は役に立たない。  
自分を楽しみ、至福をエンジョイする事。ダンスするようなもの
- ・癒し・ヒーリングは、本来のいのちの光がより美しく純粋にクリアに流れ、その光をより大きく反映させていくこと
- ・自分の意識フィールドをひろげ、明るくし、光を通りやすくする
- ・エネルギーの流れを潤滑にする、調和をもたらす、不調和を調和に、切断されているものをつなげる統合するプロセス
- ・ヒーリングワークを磨くというのは、無限にひろがる可能性である、自分自身をより深く知ることと通じる
- ・さまざまな周波数・より低いもの、暗いもの、高いもの、明るいものなどの、認識領域がひろがる

## ●意識



顕在意識（表層意識）約2～5%潜在意識（深層意識）超意識95%以上などと分けて考えたりしますが、ここでは、意識を一つのものとして捉えて、アプローチしています。

左図のように、無限から「気づき」の意識が生まれ、その意識がフォーカスを強めるにつれて、密度が増し、ヒト意識の自分を中心点として、物や世界を生み出し、無限で在る自分自身を経験しているということ。

※現在地から10の24乗（1億光年）ズームアウトして離れたところかつ10の-40乗ズームインしたミクロの世界は、空・何も無い領域といわれている

【宇宙の構成】70%知ることが出来ない（Unknown）25%ダークマター  
5% 原子構成（その5%内の99%見えないもの 1%認識できるもの）

## ●すべては自分

- ・ハイゼンベルグ原理・だるまさんころんだ現象
- ・量子は、波から粒、崩壊して、形として認識
- ・量子はたったひとつ、高速で振動 さまざまな形を生み出している
- ・一つであり、個々の存在
- ・量子ヒーリングはすばやい、たったひとつの永遠の今、ここ、時空をこえた意識の場

- ・時間と空間が存在しない、マイナスから、プラスというプロセスなくなる
- ・ただ、量子の場に浮かぶ形を認識するだけ。フォーカスかえて、周波数をあげる シフト

・(参考) クオントム博士

<http://www.youtube.com/watch?v=pIWuNNF1VZo>

- ・すべては自分、自分以外に何も経験していない
- ・すべては、意識が映し出している、自分が観ているものは、すべて自分の意識の現れ、映っているものをみて感覚や、周波数を生み出し、そのエネルギーを経験している
- ・マインドはレーザー光線のように、意識が映し出したものに、フォーカスして、観念をくっつけ、波動を密にし、重くしていく。フォーカスするところにエネルギーが注がれる
- ・それらの形をゼロにもどしていくことで、形作られやすくなる、ゼロ、愛の光の海に戻す、リラックスして思いを空にする。空間ははてしない宇宙 無限の創造の海、すべてのパラレルが存在する。そのゼロポイントにアクセスして、鉄製品をつくる際、炉にくべるように、形作られやすい状態にする。
- ・観察されると、変容する。 観察者としての意識自体が、光、愛・純粋な意識だから
- ・断絶されていた部分が、コネクト、含まれる、愛にもどされる
- ・ヒーリングは、断絶しているものをコネクトしていくプロセス
- ・深く、ゼロポイントにアンカリングさせる。細胞の記憶をクリアリング・断絶されていたものをコネクトさせていく。 含めていく
- ・誰もが人生をかけてヒーリングをしている。学びや経験を通して、ああそうか・という気づき物質化しなくても、見えないエネルギー、インフォメーションの段階で、気づいて、変容することもできる

## ● プロセス

- ・自分の意識フィールドにのぼるもの、認識するものは、すべて自分  
純粋な意識から、経験するなら、そこで感じ、認識できるのは、愛と、喜び、豊かさ、無限の周波数でも、通常、それを認識できないのは、無意識に集合意識にあわせていたり、遺伝子的に、伝統、さまざまなインフォメーションや、細胞に刷り込まれたメモリー、自分の考え、判断、教えられた反応、といった枠をつけているから。  
そのような状態だと、波動調整の鍵である、リラックスができなかつたりする
- ・嫌な気持ちをいだくというのは、 自分もつそのメモリーのエネルギーを呼び覚まし、解放して、スペースをつくり、意識の場から出そうとしている反応。  
そこに注目して、マインドで関連付けて、反応し、抵抗する事で、せっかくできたスペースに、また、深く「嫌な記憶」とともに、エネルギーを刷り込んでしまう
- ・異物として、認識する、「嫌な気持ち」「本来の自分のものでないエネルギー」は、抵抗をえさにして、

存在できるので、ヒーリング・癒し、浄化・クリアリングをするために、抵抗せずに、きちんと認めることが必要

- ・認められるために、でてくる抵抗エネルギーは、愛の創造エネルギーにもどされるための、スペースをつくっているため、認識され、祝福されることでシフトする  
つくられたスペースに、ゼロエネルギーの満ち満ちたエネルギーがただ流入する
- ・さまざまな情報、記憶、信念、概念、判断などを、クリアにすることを通して、本質のもつ光、至福のエネルギーにチューニングしやすくする
- ・自分が何を感じ、何を体験しているかに気づくことを通して、自分がどの周波数を望み、どんな体験をしたいかに気づいていくことができる

## ●実際

- ・統合・三位一体。観察者意識・気づきの意識、プラス極（施術者の感覚・健康な部位）マイナス（施術される側・患部）
- ・癒し・ヒーリングとは、統合  
「何か欠けているものを、埋めて、元の状態に治す。というよりも、常に躍動し、無限の可能性のうちに広がり、創造する、いのちのエネルギーの流れの中に、取り込んでいくイメージ
- ・認識というのは、体の痛みなら、ただ、感じる、判断無しに。
- ・瞬間ヒーリング・手かざし・リコネ
- ・ゼロにつなげて、観察、そこから、イメージがながれるまま、遊ぶ

## ●願望実現

- ・個人的な願望実現につかうアファメーションなどはイメージして、周波数を上げて、行動するとき、状況対応をしようとして、いつもの、周波数に戻って、それを活性化してしまう。  
自分が何者か深く知り、その周波数をなじませていくことがないと、不十分になる  
潜在意識の書き換えをいくらしても、波動をアンカリングさせていかないと、効率的ではない

## ●施術者

- ・施術した相手が、それを認識しなくてもヒーリングは、起こっている。
- ・結果にこだわったり、変えようとする事自体が邪魔になる。すべては自分だとしてしていること
- ・ただ、起こっていることを観察、それを楽しむ、マインドを休息させ、そこから、自然にイメージを湧いてくるまま膨らませたらいいだけ
- ・施術者が気づきをあたえて、コネクトさせるサポートもできる。相手が抱えているかもしれない思い込みや信念、エネルギーなど、施術者がなんでも気づいた事、意識の場に浮かんできたことを口にすることを通してなど。
- ・相手が、いつ、どのように気づくかを決めていて、必要な事が起こっていることを信頼する事